

「(仮称)北九州市こどもまんなか教育プラン」の全体像

社会の課題

少子高齢化・人口減少
将来の予測が困難
グローバル化
Society5.0社会の到来
価値観の多様化

各主体の課題

子どもの抱える問題の多様化・複雑化
(不登校、特別支援、キワフッド、外国人)
教職員のなり手不足
施設の老朽化や、災害への対応(レジリエンス)
家庭を取り巻く環境の変化や少子化

時代の要請

社会の変化に対応できる人材の育成
誰一人取り残されない共生社会
こども基本法の理念「こどもまんなか」の実現

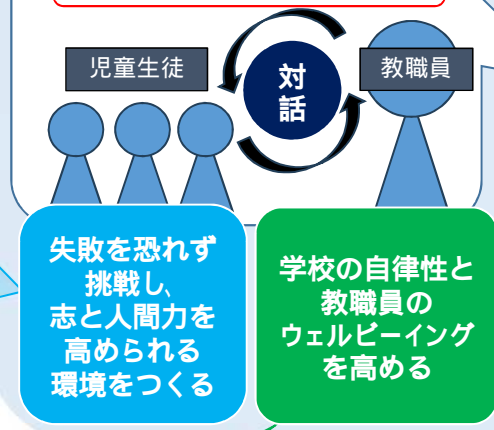


「こどもまんなか」で質の高い教育環境の充実を

全てのこどもにとって「居心地の良い学校」をつくる

誰一人取り残さない学びと、
先端的な学びを進める

こどもの可能性を引き出す



失敗を恐れず
挑戦し、
志と人間力を
高められる
環境をつくる

学校の自律性と
教職員の
ウェルビーイング
を高める

地域とのつながりの中で、
こどもを見守り、支え育てる

企業

関係機関

(1) こどもを枠にはめず、違いを尊重

「こどもまんなか」の教育施策

(2) こどもが人を支え、人から支えられ、
自分の身を守れるように育てる。

生命の安全教育
人権・道徳教育

(3) 安全・安心に過ごせる居場所づくり

学校施設の維持管理・教育環境の整備
学びの機会の確保・地域との連携

(1) 地域・企業、NPO等と連携した教育

コミュニケーション力、生きる力の育成
STEAM教育、SDGs・環境教育
不登校・いじめ対策、学びの機会確保

(2) 学校と地域の連携による学校運営

地域との連携
(市民ボランティア、コミュニティ・スクール)
家庭との連携

(3) 教育の情報を社会全体で共有

広報広聴活動

(1) 確かな学力と健やかな体の育成

学力・体力の向上、健康、給食の質
小中一貫教育

(2) 不登校支援、インクルーシブ教育システム

不登校・いじめ対策、特別支援教育
学びの機会確保(学びの多様化)

(3) 人権、ジェンダー、多様性への理解

(4) グローバルな資質・能力の育成

外国語教育、デジタル・グリーン人材の育成
文理融合、探究学習、STEAM教育

(5) ICT活用、リアルとデジタルの融合

問題解決・価値創造できる人材の育成
ICT活用に向けた「授業観の転換」

(1) こどもの意見を学校運営に活かす

(2) 挑戦と失敗を成長の糧とできる環境
(3) 知的好奇心を高め、思考力を育てる
(4) 社会に関われた教育、放課後の充実

コミュニケーション力、生きる力の育成
アプレンティス教育による人材育成
特色ある教育環境(市立高校)
図書館の機能強化

(1) 時代の変化に対応した資質・能力
(2) 働きやすく、教職員同士がつながり、
力を発揮できる職場づくり
(3) 自律的で特色ある学校づくり

教職員の育成、組織風土の醸成
教職員の負担軽減(チーム学校の推進)
学校マネジメント能力の向上(危機管理)
学校ビジョンに基づく学校運営
校務DXの推進、ICTによる授業支援

正解のない時代に生きる力
(未来を創る能力・レジリエンス)

自分なりの価値観・哲学
他者への思いやりや多様性の理解
自分で問いを見つけ、解決する力
本来持っている可能性の発揮

個々のウェルビーイング

今の子どもたちが
大人になったときに…

○社会に新たな価値を創造し、
「新たな解」を生み出す
○様々な社会課題を解決し、
地域・国際社会に貢献する

社会のウェルビーイング